

第3回 薬剤師スキルアップ講座

薬剤師業務実践講座

BP

スキルアップ講座

BPのスキルアップ講座と同一の講座です。

感染症治療と症例検討

腎・肝機能に応じた抗感染症薬の投与量設定
～院外処方せんと臨床検査値から考える抗感染症薬の適正使用

日時 2024年1月28日(日) 13:00~15:00

【申込期限】2024年1月25日(木)まで 【ポートフォリオ提出期間】2024年1月28日(日)~3月6日(水)まで

会場 北海道科学大学サテライトキャンパス
〒060-0033 北海道札幌市中央区北3条東1丁目1-1

講師 医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 薬剤部 統括主任／山崎 晃憲
北海道科学大学 薬学部 薬学科 薬物治療学分野 教授／山田 武宏

抗感染症薬の多くは腎排泄型薬剤であり、患者腎機能に応じた投与量設定を個別に行うことで、感染症に対する薬物療法の安全性向上に深く関係してきます。最近では保険薬局における外来調剤においても、院外処方せんに臨床検査値が付与されているものが増えてきており、処方監査における投与量の妥当性評価にあたり、薬剤師がさらに力を発揮すべき部分かと思われます。一部、肝代謝型の薬剤もあるため、この場合は特に薬物間相互作用のより厳密なチェックに繋がります。本講座では、患者腎・肝機能から適正な投与量を薬剤師が支援するためのノウハウについて、事例を交えた形式で学びます。

時間▷120分

定員▷20名

定員に達し次第受付を締め切らせていただきます。

受講料▷1講座3,000円

受講料の支払方法がクレジットカード決済、コンビニ決済に変わりました。

認定単位▶ 北海道科学大学生涯学習認定制度の受講単位(G10)
1単位および外来抗感染症薬認定薬剤師制度の受講単位(5単位※予定)を取得できます。

各講座のお申し込みには「HUS生涯学習システム」の新規登録(無料)が必要となります。▶▶▶▶▶▶

HUS生涯学習システム



主催：北海道科学大学 薬剤師生涯学習センター